

## 2022年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：データ処理特論 I	
担当教員名：七宮 圭	
<p>授業科目概要：</p> <p>近年のインターネットとコンピュータの急速な発展により多種多様なデータが観測・記録されている。このようなデータを分析するためには、統計学の知識だけではなく、コンピュータを用いたデータの統計処理手法も必要となる。また、実際の調査で直面するようなデータにはそれぞれ特性があり、その特性に応じて統計処理手法の応用が必要な場合がある。このため本講義では、統計ソフトウェアRのプログラミングの習得を通じて、データの整理、平均・分散などの統計値の計算、表・グラフの作成、クロス表、回帰分析といった基本的なデータの統計処理手法だけではなく、データの特性に応じた統計処理手法の応用についても学ぶ。</p>	
<p>履修上の留意事項：</p> <p>予習・復習・課題作成のために、パソコンにフリーの統計ソフトウェアRをインストールすることが必要となります。</p> <p>統計学の知識が前提となりますので、統計学特論、経済統計学特論の内容を理解していることが望ましいです。</p> <p>講義資料およびファイルを適宜配布します。</p>	
参考書（参考文献）	
<p>書名：Rによる実証分析</p> <p>著者／編者：星野匡郎、田中久稔</p> <p>出版社：オーム社</p> <p>出版年：2016</p>	<p>書名：Rによる計量経済分析</p> <p>著者／編者：福地純一郎、伊藤有希</p> <p>出版社：朝倉書店</p> <p>出版年：2011</p>
<p>書名：基本統計学 第4版</p> <p>著者／編者：宮川公男</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2015</p>	<p>書名：The R Tips 第3版</p> <p>著者／編者：舟尾暢男</p> <p>出版社：オーム社</p> <p>出版年：2016</p>
<p>書名：Rで学ぶ統計的データ解析</p> <p>著者／編者：林賢一（著）、下平英寿（編）</p> <p>出版社：講談社</p> <p>出版年：2020</p>	<p>書名：データ分析をマスターする12のレッスン</p> <p>著者／編者：畑農鋭矢、水落正明</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2017</p>
<p>評価方法及び判定基準：</p> <p>3～4回の課題および授業の参加態度を総合的に評価します。</p> <p>なお、課題の回数は授業スケジュールに応じて決定します。</p>	
<p>授業目標及び進め方：</p> <p>統計ソフトウェアRを用いた基本的な統計分析手法の習得を目指します。</p> <p>授業内で実際にRを操作しながら、データの分析等を行います。</p> <p>なお、以下の示す授業内容とスケジュールは、受講者の関心と習得度に応じて変更となる可能性があります。</p>	

第1回	テーマ：プログラミングの基礎とRの基本操作① 内 容： 参考書 適宜指定する
第2回	テーマ：プログラミングの基礎とRの基本操作② 内 容： 参考書 適宜指定する
第3回	テーマ：プログラミングの基礎とRの基本操作③ 内 容： 参考書 適宜指定する
第4回	テーマ：記述統計、表・グラフの作成① 内 容： 参考書 適宜指定する
第5回	テーマ：記述統計、表・グラフの作成② 内 容： 参考書 適宜指定する
第6回	テーマ：記述統計、表・グラフの作成③ 内 容： 参考書 適宜指定する
第7回	テーマ：クロス表 内 容： 参考書 適宜指定する
第8回	テーマ：推測統計学① 内 容：点推定、区間推定 参考書 適宜指定する
第9回	テーマ：推測統計学② 内 容：検定 参考書 適宜指定する
第10回	テーマ：推測統計学③ 内 容：検定 参考書 適宜指定する
第11回	テーマ：回帰分析① 内 容： 参考書 適宜指定する
第12回	テーマ：回帰分析② 内 容： 参考書 適宜指定する
第13回	テーマ：回帰分析③ 内 容： 参考書 適宜指定する
第14回	テーマ：因果分析① 内 容： 参考書 適宜指定する
第15回	テーマ：因果分析② 内 容： 参考書 適宜指定する